



ISOCC2020 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻
電子情報・数理教育プログラム
小林研究室 修士2年 阿部優大

- 参加学会

ISOCC2020 17th International SoC Design Conference

<https://www.isocc.org/modules/doc/index.php?doc=intro>

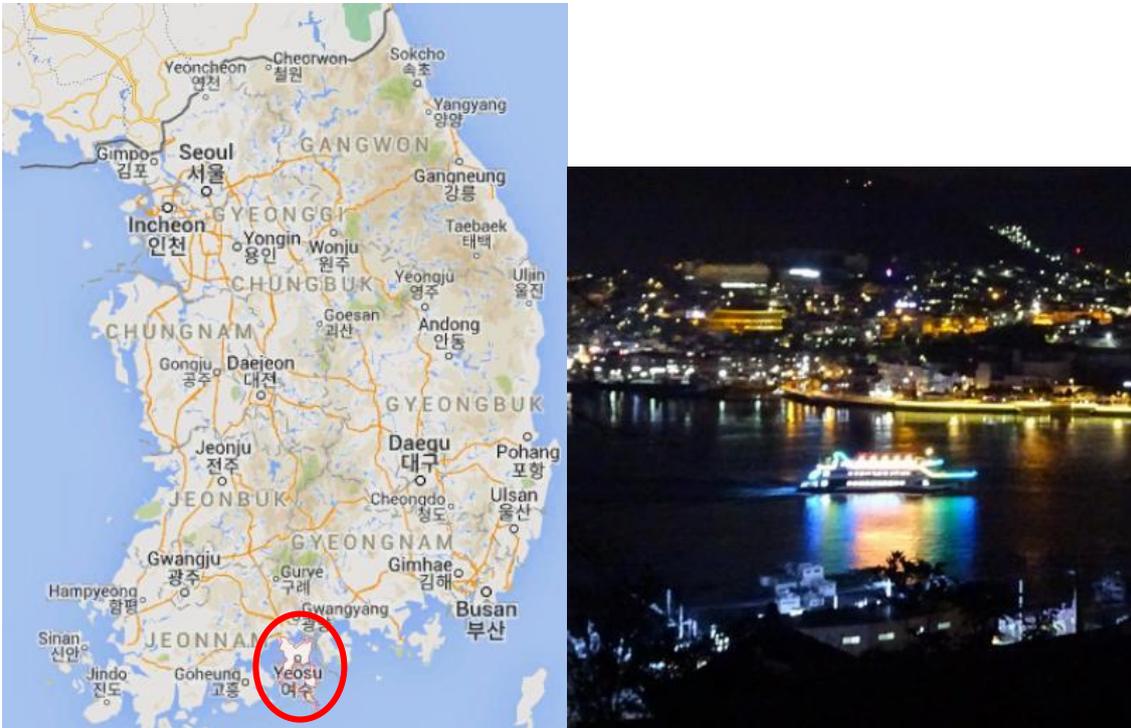


- 開催場所

Sono Calm Yeosu Hotel (韓国 麗水)

麗水市(「韓国のヴェネツィア」と呼ばれる)は、特に夜に国内で最も美しい港町の1つである。麗水市は麗水半島にあり人口は30万人である。市域には317もの島がある。麗水市は韓国の南海岸中央に位置し、海風と温かい流れにより夏は涼しく冬は暖

かい気候である。海洋性気候により比較的春と秋が長いのが特徴である。今回はリモートでの参加であったが実際に行ってみたかった。。。



- 開催期間

2020年10月21日(水)~24(日)

- 学会情報

ISOCCは学会や産業界の世界的な研究者に最高のSoC設計フォーラムを提供する年次会議として長い伝統がある。ISOCCでは、半導体システムオンチップの分野の最新のイノベーションとトレンドを紹介し続けている。

110件の口頭発表、64件のポスター発表が行われた。採択率は69.41%であった。



- 学会参加報告

筆者の発表テーマは”Low Power Loss IGBT Driver Circuit Using Current Drive”（電流駆動を用いた低消費電力 IGBT ドライバ回路）である。3 日目の「Analog Circuits 1」のセッションにて発表を行った。このセッションでは 4 件の発表のうち 3 件が小林研究室の学生による発表であった。今回は COVID-19 の影響によりリモートによる参加であったため、国外の参加者は事前に発表の様子を録画したものをその場で流すという発表形式であった。実際にその場で発表するのとは違い緊張がなく発表を終えたように感じた。学会期間中は Whova というアプリを利用した。Whova では見たい発表を登録しリマインドしてくれるだけでなく、アプリ上での質疑応答や、特定のコミュニティが作成可能で誰でも自由に参加することが出来る。リモートでの学会参加も今後増え、より快適なものになっていくだろうと感じた。



- 謝辞

今回学会に参加し発表の機会を頂きました小林春夫先生、参加にあたり様々なサポートをして頂いた桑名杏奈先生、原稿内容に関してご指導頂きました松田順一先生、岩淵昭夫様に感謝申し上げます。



Analog Circuits 1

23, Oct. 2020
14:45 – 15:00

Low Power Loss IGBT Driver Circuit Using Current Drive

Yudai Abe, **Akio Iwabuchi**

Jun-ichi Matsuda, Anna Kuwana

Takashi Ida, Yukiko Shibasaki

Haruo Kobayashi

Gunma University

Sanken Electric Co. Ltd.